

錦江町サテライトオフィス誘致事業の進出第1号となる「株式会社 あしたのチーム」
 昨年10月から旧神川中学校のパソコン室に「サテライトオフィス錦江ランド」を開設しました。
 今回は錦江ランドで働くお二人をご紹介します。



株式会社 あしたのチーム
 サテライトオフィス錦江ランド

柿迫 優佳



株式会社 あしたのチーム
 サテライトオフィス錦江ランド

田原 麻里子

2018年12月入社。
 田代出身の夫のUターンがきっかけで
 錦江町へ移住しました。趣味はバイク。
 福岡県出身で2児の母。

2018年9月入社。
 錦江町大根占出身で、あしたの
 チーム入社を機に鹿児島市から
 Uターン。特技はサッカーで、
 今年からカメラを始めました。

サテライトオフィス第1号 昨年7月に立地協定を締結

錦江町MIRAAーづくりプロジェクトの重点施策に位置付けられている「サテライトオフィス誘致事業」。

昨年7月に進出第1号として、町と立地協定を結んだのが人事コンサルティング会社「株式会社あしたのチーム」です。全国の中小企業向けに、人事評価制度の構築や運用サービスを提供するなど、全国に61の支社と11のサテライトオフィスを展開しています。

企業の力で地方が変わる これからの新たな働き方

サテライトオフィスとは、都市部にある企業が拠点として地方に設置するオフィスのことです。インターネット環境の整備により、サテライトオフィスを持つ企業が増えています。

「オフィスを出なくてもできる仕事は、サテライトオフィスでもできます。実際に当社でも、お客様対応のオペ



2018年7月8日に立地協定を締結。サテライトオフィス進出第1号となる。



(株) あしたのチーム

サテライトオフィス統括マネージャー

西村 耕世 氏

30歳で大阪から両親の実家がある徳島県三好市へ家族で移住した、いわゆる「孫ターン」。通勤時間が大幅に短縮され、家族で過ごす時間が増えたと話す西村さん。休日は農作業や釣り、アウトドアを楽しむ2児の父。

レーション業務やシステム設定など、サテライトオフィスを中心に対応しています。」と話す西村マネージャー。

「企業側にとって、本社の業務効率化やオフィス維持費の削減、地元の優秀な人材確保など、サテライトオフィスを開設する意味は大きい。短縮された通勤時間で、趣味や家族と過ごす時間が増えるなど社員にとってのメリットも多い。」と続けます。

一方で、地方にとっても仕事の選択肢が増えることから、若者の流出防止や就業者の転入など、人口減対策にも期待されています。

これからの地方にとって、都市部の企業や個人事業者を呼び込み、人の流れを生み出し、新たな雇用を創出することが不可欠となっています。